別記（三）

争議日報 No.25

一九五〇、八、三〇、 東京金属 大島製鋼争議団本部、発行

家族大会に動員せよ

先日の家族慰安会は警察の奴らが目茶目茶な圧迫をしやがつてとう〳〵何も出来なくしてしまやがつた。だが争議団は何うしても家族の人達にも何故俺たちはストライキをやらねばならないか、俺たちは何う云ふ風に戦つて来たかを報告し、現在の交渉の状況やこれからの方針なども知らせなければならないの

交渉の手を緩めるな、

会社では交渉をすると約束してゐるが、奴らの口を信用してゐたら何時迄待たされるか分つたものぢやない、奴等から確答の来る迄ちよつとでも交渉の手を緩めたら駄目だ、遠慮しておとなしくしてゐたら馬鹿を見るぞ、絶えず俺達の力を示して重役共を閉口させろ

注意

朝は八時迄に本部に出て来ることになるのに時々遅く来る者がゐる、行つた用がないからと言ふかも知れないが用はあるんだ、時間を正しく守らない[illegible]の行動に不便を起す事が非常に多い、[illegible]遅れたために皆が待合はせなければならない様なまがあつてはしつかりした活動は出来ないぞ、

忙しい人は早朝からビラ撒きから夜の訪問まで休みなく働らいてゐるのに一方には用がなくつてゴロ〳〵してゐる人があるやうではは駄目だ仕事はみんなで協力してやらねばならない。ストライキはみんなの仕事なのだ交渉使ひ、ビラ撒き、訪問その他何でもみんなが分けあつて仕事をしろ、一定の人だけ[illegible]にだけ働いてゐるのだけ能率

のでは俺達労働者の生活は苦しくなるばかりだ。

消費組合が労働者の生活にすぐ日々の役に立つことはわかつた。俺達は大衆の労働者は此の有益な施設を拡大させ此の争議後も大島地方に正しい大きな消費組合を作つて行かう

消費組合は皆入れ！。他の工場の人にも参加を話しろ！

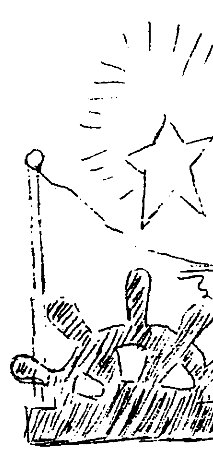
◎争議団はいよいよ引き締まつてきた。出席もよくなる。闘志は愈々緊張してゐる兵糧はドン〳〵来る。ぞく〳〵工場の労働者は動く

形勢はすべて俺達の有利だ！

此の勢で会社をやつつけろ！

千歩を八ネとばせ！

てゐる八千人の労働者が五千人に減らされることになり三千人の首が飛ぶ。此の不景気に三千人も失業者がトビ出たら一体どうなることであるのだ。

一般の労働者は決して黙つて自分々々の首を渡すやうな事はない。俺達に続いて近く解雇反対の戦ひを始めるぞ

協力して労働者の生活を守れ！